

**製品名: Rad51D ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02513**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 35 kDa; Observed MW: 35 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RAD51D
別名	TRAD; R51H3; BROVCA4; RAD51L3
遺伝子 ID	5892
SwissProt ID	O75771
免疫原	ヒト Rad51D の組み換えタンパク質

**背景**

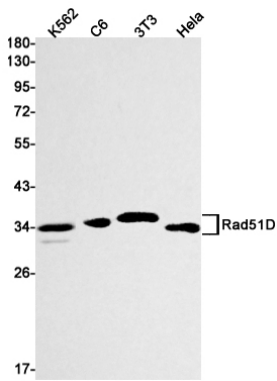
DNA 複製中に生じる、または DNA 損傷因子によって誘発される二本鎖 DNA 切断の相同組み換え修復（HRR）経路に関与する。—

本鎖 DNA (ssDNA) に結合し、DNA 依存性 ATPase 活性を有する。BRCA1-BRCA2 依存性 HR 経路で作用する Rad21 パラログタンパク質複合体 BCDX2 の一部である。DNA が損傷すると、BCDX2 は BRCA2 リクルートメントの下流および RAD51 リクルートメントの上流で作用する。BCDX2 は主にホリデイジャンクションの 4 つの二重鎖アームの交差点と複製フォークのジャンクションに結合します。BCDX2 複合体は、もともと一本鎖 DNA、二重鎖 DNA 内の一本鎖ギャップ、そして特に二重鎖 DNA の切れ目に結合すると報告された。テロメアの維持に関与する。BCDX2 サブ複合体 XRCC2:RAD51D は、BLM によるホリデイジャンクションの修復を刺激することができる。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



Rad51D 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の Rad51D のウエスタンブロット分析。